

平成25年市川市芸術祭

# 市響

第370回 交響楽の午後

ベートーヴェン

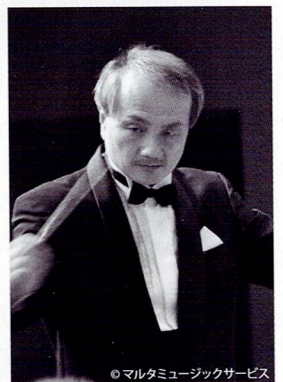
交響曲第2番  
ニ長調 op.36

交響曲第7番  
イ長調 op.92

Dr. Wieselhofer



©Austrian National Tourist Office/ Wieselhofer



©マルタミュージックサービス

指揮  
小田野宏之

管弦楽  
市川交響楽団

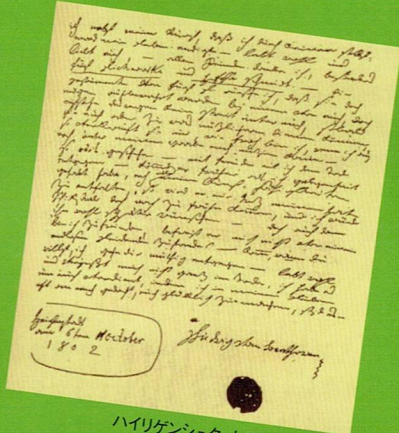
2013.7.21 (日)

午後2時開演 (1時30分開場)

入場無料

市川市文化会館大ホール

(JR総武線・本八幡駅下車)



ハイリゲンシュタットの遺書(1802)

本日のプログラム

## L.v.ベートーヴェン *Ludwig van Beethoven*

### 交響曲第2番 ニ長調 op.36

第1楽章 Adagio molto ♩=84 3/4拍子-Allegro con brio ♩=100 4/4拍子

第2楽章 Larghetto ♩=92 3/8 拍子

第3楽章 Scherzo:Allegro ♩=100 3/4拍子

第4楽章 Allegro molto ♩=152 2/2拍子

休憩

### 交響曲第7番 イ長調 op.92

第1楽章 Poco Sostenuto ♩=69 4/4拍子-Vivace ♩=104 6/8 拍子

第2楽章 Allegretto ♩=76 2/4拍子

第3楽章 Presto ♩=132 スケルツォ 3/4拍子 Allegro meno presto ♩=84

第4楽章 Allegro con brio ♩=72 2/4拍子

## プロフィール



指揮：小田野 宏之（おだの・ひろゆき）

横浜生まれ。1980年東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。1983年同大学大学院音楽研究科修了。大学在学中、指揮法を金子登、渡邊暁雄、ピアノを水谷達夫、フルートを川崎優の各氏に師事。1983年より1985年まで、国際ロータリー財団奨学生としてウィーン国立音楽大学へ留学。指揮法を O.スウィトナー、P.シュヴァルツ、ピアノを R.ハインツェ、オペラ伴奏法を H.ゲルツの各氏に師事し、研鑽を積む。

1982年第17回民音コンクール指揮の部第3位入賞、同時に「斎藤秀雄賞」受賞。1984年オランダで行われた第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに於いて第2位入賞。アムステルダムのコンサートヘボウ大ホールに於いてオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団を指揮してヨーロッパにデビュー。留学中よりオランダ放送交響楽団、オランダ放送室内管弦楽団にたびたび客演し、演奏会のほか放送用の公開録画・録音を数多く指揮。また1986年2月には北オランダのフリスク管弦楽団定期演奏会に日本人として初めて登場し、成功を収めた。

最近では南西ドイツフィルハーモニー管弦楽団への客演も回を重ね、2007年2月にはピアニスト急遽変更のアクシデントの中、イタリアとイスでの演奏会を大成功に導いた。2010年3月にはチェコのビルゼン放送交響楽団に招かれ定期演奏会を指揮している。

国内では全国各地の主要オーケストラを指揮するほか、1985年から1988年まで牧阿佐美バレエ団指揮者として全ての公演を指揮する。また1991年に横浜で「コシ・ファン・トゥッテ」を指揮して以来、オペラ公演にも積極的に取り組み、バレエ、オペラの分野でも高い評価を得ている。吹奏楽では東京佼成ウインドオーケストラとの共演も多く、定期演奏会の指揮をはじめ、特に邦人作品のCDは各方面より絶賛されている。

1989年大阪センチュリー交響楽団設立の際は、楽員オーディションの審査やオーケストラのトレーニングに尽力し、同交響楽団指揮者として1992年3月まで活動。1995年より2002年まで広島交響楽団正指揮者をつとめ、定期演奏会をはじめさまざまな演奏会を数多く指揮し、広島交響楽団の発展に大きく寄与した。2002年9月にはNHK交響楽団定期演奏会に合唱指揮者として参加、シャルル・デュトワ指揮によるシマノフスキーの「スターバト・マーテル」とオペラ「ロジェ王」の本邦初演成功の一翼を担った。上記の他これまでに札幌交響楽団、群馬交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団などに客演。その誠実な指揮ぶり豊かな音楽性は高く評価されている。

現在大阪音楽大学特任教授及び東京芸術大学非常勤講師として、後進の指導にもあたっている。

### 管弦楽：市川交響楽団（いちかわこうきょうがくだん）

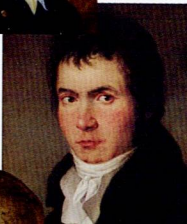
2016年に創立65周年を迎えるアマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。メンバーは現在100余名で年齢構成は高校生から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラ・フェスティバル等にもしばしば招かれ演奏を披露している。著名な音楽家との共演も数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽芸術の振興に多大な貢献をしている。市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する市川交響楽団協会の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに常に積極的な活動を展開している。

日本では江戸幕府10代将軍徳川家治の時代。三原山大噴火。伊勢神宮へのおかげまいりが流行。田沼意次老中となる。前野良沢・杉田玄白らが『解体新書』を出版。

市民革命  
フランスでパリ民衆が王制を廃止し共和制を宣言する。



33歳



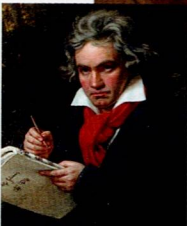
34歳



42歳  
ライフマスク



45歳



50歳

西暦(年齢)	ルートヴィヒ ヴァン ベートーヴェン
1770	12月16日生/ボン
1787(17歳)	ウィーンでモーツァルト(当時31歳 オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を初演した時期)を訪ねて即興演奏をする。しかし母危篤の知らせを受けボンに帰り、念願の弟子入りは叶わなかった。(7月に母の死)
1792(22歳)	ボンでハイドゥンに師事。しかしハイドゥンはあまりに多忙で指導を受けられず、ベートーヴェンは不満を抱いて翌年宮廷楽長サリエリなど複数の作曲家を師に持った。
1795(25歳)	ブルク劇場で最初の慈善公開演奏会を開催し、ピアノ協奏曲第2番を初演、天才ピアニストとして喝采を浴びた。
1800(30歳)	このころ、難聴を自覚し友人に訴える。初めての自主演奏会で交響曲第1番、ピアノ協奏曲第1番、七重奏曲などを初演、成功を収める。
1802(32歳)	聴覚障害が悪化し、自宅に引きこもるようになる。その静養のためハイリゲンシュタットへ行くが、思い詰めて二人の弟にあてた「遺書」を書く。
1803(33歳)	自主演奏会で交響曲第2番、ピアノ協奏曲第3番を初演。
1805(35歳)	交響曲第3番「英雄」初演。
1807(37歳)	交響曲第4番初演。
1808(38歳)	交響曲第6番「田園」、ピアノ協奏曲第4番、交響曲第5番「運命」等を自主演奏会で初演。練習不足やオーケストラ団員との喧嘩が原因で大混乱となり失敗。
1813(43歳)	ハナウの戦いで負傷した兵士のための慈善演奏会で交響曲第7番交響曲第8番、ウエリントンの勝利(戦争交響曲)などを初演。大成功を収める。
1817(47歳)	メルツェルのメトロノームに基づく交響曲の速度表を発表。
1818(48歳)	難聴が悪化し、筆談帳を使い始める。
1824(54歳)	ミサ・ソレムニス、交響曲第9番初演。
1827(57歳)	3月26日死去。



13歳

作曲家としての自立

このころから楽譜の出版市場が盛んとなり、ベートーヴェンは貴族や王侯に仕えることなく、自立した音楽家として暮らしていくことが可能となった。

ハイリゲンシュタットの遺書

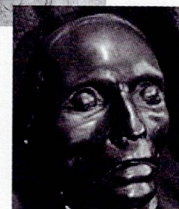
内容は一般的な遺書ではなく「偉大な作曲家である私が、耳が聞こえなくなる病を告白することはプライドが許さなかった。しかしそれを引き止めたのは芸術だ。私にはまだやるべきことがある。それまでは死ねない」という決意の手紙です。



44歳



48歳



57歳  
デスマスク

本日の出演者

【コンサートミストレス】

立田 祥子

【第1ヴァイオリン】

石崎 俊信  
石本 恵理  
大橋 一郎  
鎌田 真貴  
菅原 夕  
佐藤 薫  
秦 一宜  
武藤 敦子  
望月 聖仁  
森山 淳子  
安田 哲

【第2ヴァイオリン】

上田 佳津子  
角河 友梨  
佐分利 幸江  
滝澤 葉子  
富田 八江子  
仁井 理絵  
早川 貴子  
林 美穂  
久田 しげ子  
溝田 範子  
村上 葉子  
吉岡 一郎

【ヴィオラ】

内田 綾美  
大橋 かおる  
佐々木 裕史  
柴崎 広子  
鈴木 亜矢子  
高野 重樹  
谷口 善樹  
奈良林 弘子  
星 乗昭  
若林 繁

【チェロ】

岩田 啓子  
倉澤 倫子  
中村 公一  
野中 能久  
林 恭代  
日澤 優  
平得 裕子  
福原 耕二

【コントラバス】

池田 和正  
上村 啓介  
神代 順子  
小林 真弓  
番場 仙嘉  
村上 信乃

【フルート】

遊馬 陽子  
木村 眞論紀  
佐藤 洋行  
番場 ますみ

【オーボエ】

鈴木 宏子  
二村 直子  
【クラリネット】  
秋永 直美  
井垣 貴嗣  
時田 雄  
八木 良子

【バスーン】

遠藤 由紀子  
金坂 哲  
菅原 斉  
山内 静

【ホルン】

木下 泰斗  
近藤 利昭  
藤井 茂司  
山内 正晴

【トランペット】

十川 雅彦  
田崎 真二  
西村 雅洋

【ティンパニ】

都筑 裕  
和田 英恵